



曾
56
1

15
56
1



林三又

光恒系活卷一

目録

- 一 大田の書
- 一 蘭著作
- 一 岡西の書
- 一 宗文
- 一 輝世
- 一 多木の書
- 一 大田の書
- 一 八十九賀
- 一 今川の書
- 一 武の名云
- 一 石井の書
- 一 薩摩の書
- 一 石井の書
- 一 石井の書

門 5
號 56
卷 1

南無

ともし子孫とありて 利發の後清の字
我よりと名と故 校律字の家光本戸元家の子
一とありて可くありて 同姓のありて 子孫の可く
ありて

河原亭

借法籍のせし 一とありて 是故を何しとありて
ありて 故を籍のありて ありて ありて ありて
ありて ありて ありて ありて ありて ありて ありて ありて

とありて ありて ありて ありて ありて ありて ありて ありて
ありて ありて ありて ありて ありて ありて ありて ありて
ありて ありて ありて ありて ありて ありて ありて ありて
ありて ありて ありて ありて ありて ありて ありて ありて

ありて ありて ありて ありて ありて ありて ありて ありて
ありて ありて ありて ありて ありて ありて ありて ありて

ありて ありて ありて ありて ありて ありて ありて ありて

青木三郎

青木三郎として評議のものをとりし西園寺社家評議
のゆゑに京のドノ社家を一併改めしよとす
りたるあるとき赤戸のあふしりて

海をらうはるあらし

その梓弓川に

糸の戸はあらし

と漢く語る谷大池言よに是を

谷の戸のあらしは秋も是くもさるれとよと
たりあらしの事ハ人ハ漢語志
の
河も地下一れ赤木三郎
らるるあらしは秋も是くもさるれとよと
の言は事成す一と對
岸つる葉
はくはるあらしは秋も是くもさるれとよと
あらしあらしの事ハ人ハ漢語志
たり青木三郎の事ハ人ハ漢語志

葉——のうらみ——のうらみ——のうらみ——のうらみ——
のうらみ——のうらみ——のうらみ——のうらみ——
原りや——のうらみ——のうらみ——のうらみ——
見——のうらみ——のうらみ——のうらみ——
うらみ——のうらみ——のうらみ——のうらみ——
ふ——のうらみ——のうらみ——のうらみ——
のうらみ——のうらみ——のうらみ——のうらみ——
のうらみ——のうらみ——のうらみ——のうらみ——
のうらみ——のうらみ——のうらみ——のうらみ——
のうらみ——のうらみ——のうらみ——のうらみ——

ふ——のうらみ——のうらみ——のうらみ——

ふ——のうらみ——のうらみ——のうらみ——

——のうらみ——のうらみ——のうらみ——

のうらみ——のうらみ——のうらみ——

のうらみ——のうらみ——のうらみ——のうらみ——
のうらみ——のうらみ——のうらみ——のうらみ——
のうらみ——のうらみ——のうらみ——のうらみ——
のうらみ——のうらみ——のうらみ——のうらみ——
のうらみ——のうらみ——のうらみ——のうらみ——

神代よりけり商人の富士の滝へ上り
てりしり何れもたれもそりてはるる
世のり

神 世

而多平八郎ち給死せしき
二年追後その弟も又追後と神業

死にもあまのりもあまのり

君代信此字はくは

八十賀

一渡道三より紙色法持りて今朝係
達希年

而る年八十一年余り

と明き通

結巴

とよあゝ後我押

物としんぞうしん思ふは

しんぞうしん

お魚喜柳の枝

しんぞうしんのちり物産了物しんぞうしん

ま席しんぞうしん

名物深意

深意あるしんぞうしん物と産るしんぞうしん

しんぞうしんしんぞうしんしんぞうしん

何しんぞうしんしんぞうしんしんぞうしん

しんぞうしんしんぞうしんしんぞうしん

しんぞうしんしんぞうしんしんぞうしん

お撲ん物しんぞうしんしんぞうしん

しんぞうしんしんぞうしんしんぞうしん

しんぞうしんしんぞうしん

將軍家少司

吉徳院様より 大敵院様へ西代成りしり

其の...の...
...
...

人多し人々

人々

人々

其の...の...

...

...

大蔵院様より

...

...

...

...

...

...

...

清く保新しむやけいふ保めさ

此の浪らの浪子高知郎

とらり奇らうらうらり
よの利休茶湯り
ん成件いり白に申及香煙のあをけい
是のりあうらうらり

秀次他意

西長東くく 関白秀次小倉の色命を束のね
あひ ー ぬいせ ー ー ー ぬいせ ー ぬいせ ー ぬいせ ー

あひのい合りり 利休と上宿
二人りり 夜 ぬいせ ぬいせ
に風呂のい葉の湯なりん 中 ぬいせ ぬいせ
とも ぬいせ ぬいせ ぬいせ ぬいせ ぬいせ
らり ぬいせ ぬいせ ぬいせ ぬいせ ぬいせ
に ぬいせ ぬいせ ぬいせ ぬいせ ぬいせ
ぬいせ ぬいせ ぬいせ ぬいせ ぬいせ
ぬいせ ぬいせ ぬいせ ぬいせ ぬいせ
ぬいせ ぬいせ ぬいせ ぬいせ ぬいせ
ぬいせ ぬいせ ぬいせ ぬいせ ぬいせ
ぬいせ ぬいせ ぬいせ ぬいせ ぬいせ

道徳の心はちよとていふは

ありては心はちよとていふは

徳は心とていふは

月夜のおく

とありては心はちよとていふは
ありては心はちよとていふは
ありては心はちよとていふは
ありては心はちよとていふは



光姫茶活巻し



